|  |  |
| --- | --- |
| 春木校章改 | 令和2年9月３０日  10月号  ＮＯ.10  **春木小学校園だより** |

**１０月の予定**



☆作品展について☆

〇科学作品展　　１０月7日(水)～9日(金)

〇習字作品展　　１０月14日(水)～１6日(金)

〇図画作品展　　１０月28日(水)～30日(金)

※いずれも１０時～１7時　最終日は14時まで　マドカホ－ル

★たてわり活動★

　1年生から6年生の異年齢活動を「たてわり活動」として、行っています。

　本年度は、幼小連携を踏まえまして、幼稚園児にも参加してもらい、

　「ス－パ－たてわり活動」として、実施いたします。

　ただ、現在の状況を鑑みて、年度内4回程度実施する計画です。

★体育発表会について

　体育発表会を分散型で実施することは、何度か紹介してきましたが、

　以下の点についてもご協力願います。

　・昨年度、近隣での喫煙により苦情が殺到しました。

近隣での喫煙は慎んでください。

　・保護者参観コ－ナ－を設けていますが、場所取りなどはできません。

　　立ったままでの観戦となります。

　・児童席への侵入は禁止です。　　　　ご協力願います。

【校長室から】　　　一局の将棋

高校生の将棋の棋士が話題を呼んでいます。藤井聡太二冠。

　最年少でタイトルを取ることも凄いのですが、あの羽生九段を簡単にやっつけることが、私のようなオ－ルドファンからすると、凄すぎます。

　かつて、羽生九段が登場してきたときのショックが今も残っているのかもしれません。

　羽生九段が高校生で颯爽と現れたときの名人は谷川浩司九段でした。「光速の寄せ」と恐れられ、終盤の大逆転で棋界の最強者でした。

　その谷川九段が面白いように勝てなかった相手が当時高校生の羽生九段でした。

　谷川ファンの私としても何度も苦渋を味わいました。でも、第55期名人戦は、今でも時々将棋盤に駒を並べて鑑賞します。第一局が堺市で開催されたこともあるのですが、谷川九段が羽生九段に勝ち、永世名人の称号を手にした戦いだから。

　いずれにしても。将棋のプロの凄いのは、戦いが終わった後、初手から最終手まで覚えていて、感想戦で並べなおすこと。途中必ず「ここでこう指すと」と言うと、こんな言葉が返ってきたりします。「それは、それで一局の将棋ですね」と。

　この「一局の将棋」っていう言葉、意味が深くて好きだなあ。